

全火災引報

第490号
 平成28年2月
 発行元 公益社団法人
 全国火災引報協会
 電話 03(3553)8762
 郵便番号 104-0032

東京都中央区八丁堀4丁目13番5号
 公益社団法人
 全国火災引報協会
 発行責任者 佐久間 信彰
 www.zenkakyo-ex.or.jp

● 会議等開催状況 (1月)

開催年月日	会議等名称	備考
28.1.6	過去問題解説作成委員会	第6回
1.14	事故防止対策委員会消費部会	第1回
1.14	過去問題解説作成委員会	第7回
1.15	試験委員会(知事)	第3回
1.19	火災引報国際化対応委員会	第4回
1.20	試験委員会(知事)	第4回
1.21	爆発影響低減化委員会WG	第2回
1.22	事故防止対策委員会煙火部会	第1回
1.22	過去問題解説作成委員会	第8回
1.26	事故防止対策委員会消費部会	第2回
1.28	試験委員会(知事)	第5回

● 平成28年度火災引報責任者試験について

火災引報取扱責任者試験(甲種・乙種)及び火災引報製造責任者試験(甲種・乙種・丙種)の試験日(予定)が、次のとおり決まりました。詳しいことは、(公社)全国火災引報協会又は同協会都道府県試験事務所(都道府県火災引報協会)にお問い合わせください。

試験の種類	願書の受付期間	試験日
火災引報取扱責任者試験(甲種、乙種)	6/21(火)～6/30(木)	9/4(日)
火災引報製造責任者試験(丙種)	6/21(火)～6/30(木)	9/4(日)
火災引報製造責任者試験(甲種、乙種)	8/26(金)～9/2(金)	11/7～8(月、火)

● 平成27年11月の産業火災引報の生産、出荷(販売)、在庫量

一、化学工業統計一

	生産	出荷(販売)	在庫
産業用火災引報(単位:t)	3,039	3,052	1,408
(前年同月比)	(107.1)	(96.6)	(99.5)

注:産業用火災引報は、火災引報及び爆薬(武器用を除く)の合計(確報値)である。

● 景気は、このところ一部に弱さもみられるが、緩やかな回復基調が続いている。

一、1月の月例経済報告一

内閣府は20日、月例経済報告等に関する関係閣僚会議に「1月の月例経済報告」を提出し、承認された。

(我が国経済の基調判断)

景気は、このところ一部に弱さもみられるが、緩やかな回復基調が続いている。

- ・個人消費は、総じてみれば底堅い動きとなっている。
- ・設備投資は、おおむね横ばいとなっている。
- ・輸出は、弱含んでいる。
- ・生産は、このところ横ばいとなっている。
- ・企業収益は、改善している。企業の業況判断は、一部に慎重さがみられるものの、おおむね横ばいとなっている。
- ・雇用情勢は、改善している。
- ・消費者物価は、緩やかに上昇している。

先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復に向かうことが期待される。ただし、アメリカの金融政策の正常化が進むなか、中国を始めとするアジア新興国等の景気が下振れし、我が国の景気が下押しされるリスクがある。こうしたなかで、金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。

(政策の基本的態度)

政府は、大震災からの復興を加速させるとともに、デフレからの脱却を確実なものとし、経済再生と財政健全化の双方を同時に実現していく。このため、「経済財政運営と改革の基本方針2015」、「『日本再興戦略』改訂2015」、「規制改革実施計画」及び「まち・ひと・しごと創生基本方針2015」を着実に実行する。また、「総合的なTPP関連政策大綱」、「一億総活躍社会の実現に向けて緊急に実施すべき対策」、並びにこれらを踏まえた平成27年度補正予算を迅速かつ着実に実行する。

これらにより、好調な企業収益を、投資の増加や賃上げ・雇用環境の更なる改善等につなげ、地域や中小・小規模事業者も含めた経済の好循環の更なる拡大を

実現する。

また、政府は、

- ・12月22日、「平成28年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度」(閣議了解)
 - ・12月24日、平成28年度予算政府案(概算)(閣議決定)
 - ・12月25日、「経済・財政再生アクション・プログラム」(閣議報告)
- を取りまとめた。
 日本銀行には、経済・物価情勢を踏まえつつ、2%の物価安定目標を実現することを期待する。

● 転倒災害の防止に向けた取組について(協力要請)

一「STOP! 転倒災害プロジェクト」による転倒災害の防止一
 厚生労働省労働基準局安全衛生部長から、上記の件につきまして協力要請を受けましたので、貴傘下の会員事業場に周知並びに趣旨を取り組んでいただきますようお願いいたします。

記

労働安全衛生行政の推進につきましては、平素から格別の御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、休業4日以上死傷災害のうち最も件数が多い転倒災害の減少を図るため、平成27年1月から「STOP! 転倒災害プロジェクト2015」を開始し、関係各位におかれても周知等に御協力いただきました。その結果、平成27年11月速報値では、全国の転倒災害の件数は前年同期比で、2.8%の減少となるなど、一定の成果が得られたところです。

しかしながら、転倒災害は依然として休業4日以上死傷災害の中で最も件数が多く、平成24年同期比で見るとわずかな減少にとどまっております。平成29年までに休業4日以上死傷災害を平成24年比で15%以上減少させることを目標とした第12次労働災害防止計画の達成のためには、更なる取組が必要となっています。

このような状況を踏まえ、昨年取り組んだ「STOP! 転倒災害プロジェクト2015」を、期限を設けずに、継続することとし、本年から「STOP! 転倒災害プロジェクト」(別添)として取り組むこととしましたので、貴団体におかれましても、傘下の会員事業場に対し、プロジェクトについて引き続き周知いただくとともに、趣旨をご理解の上、一層の取組の推進を働きかけていただきますよう、特段の御配慮をお願いします。

※別添につきましては、厚生労働省のホームページをご覧ください。

講習会開催計画表

1. 講習会開催計画表は、都道府県協会からの報告に基づき作成したものです。
2. 講習会の確認及び細部計画は、各協会にお問い合わせ下さい。

3月講習会予定

保安手帳所持者(産火)保安教育講習		
協会名	日程	開催地
石川	3	金沢市
栃木	4	宇都宮市
石川	9	輪島市
神奈川	11	横浜市

従事者手帳所持者保安教育講習		
協会名	日程	開催地
石川	3	金沢市
石川	9	輪島市
神奈川	11	横浜市

保安手帳所持者(煙火)保安教育講習		
協会名	日程	開催地
福井	上旬	福井市

発破実技講習		
協会名	日程	開催地
東京	3-4	青梅

再教育講習		
協会名	日程	開催地
富山	2	富山市
神奈川	11	横浜市
東京	25	中央区
福井	上旬	福井市

◆発破作業 確かな合図で 無災害

◆火災の扱い慎重に 気の緩みが重大事故に